

[5] エピローグ

毎朝唱和してきた「ES=CS」に決着をつけたかった。

加えて、「ES=CS」が本当にわからなかったことも理由のひとつ。

少なくとも、社員として籍を置いている以上、自分の言葉で表現しなければということをつからか感じていた。

それが今回のレポートを書かせたのだのだと思っている。

「そうは言うけど理想論でしょ」というつぶやきが聞こえてくる。

その通りである。

自分でもそう思っている。

しかし、相手は企業理念。

そこにいる限りの永遠の課題なのである。

長々と書いた。これが結論のすべてではない。

現在の理解の範囲として、いったん終わりにする。